

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年1月10日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森田 香織
レジメン名	イミフィンジ+GEM+CDDP(胆道がん)(アプレビタトカプセル) 化学療法委員会承認年月 令和 5年 2月		
疾患名	胆道がん	胆道がん	
適応分類	進行再発	適応の備考	8コース終了後、イミフィンジ単剤(維持療法)を用いる
1コース日数	21	日間総コース数	8 コース 催吐性リスク 中等度(当院登録のGO療法に準じて高度催吐性リスクとして登録)
抗がん剤投与量・投与日	イミフィンジ1500mg/body(体重30kg以下の場合20mg/kg) day1、シスプラチン25mg/m ² day1,8、ゲムシタピン1000mg/m ² day1,8		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●																				
	点滴静注																								
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	1時間	●																				
	点滴静注	イミフィンジ 1500 mg / body			●																				
		体重30kg以下の場合、1回投与量は20mg/kg(体重)とする																							
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●																				
	点滴静注																								
4	側管	ソラセトF500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	硫酸Mg補正液1mEq/mL20mL	8 mL / body	60分	●																				
		主ルートと同時開始 シスプラチン開始までに必ず終了する																							
5	主ルート	ハロ/セト注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body		●																				
6	主ルート	20%マンニトール注[YD]300mL	0.66 本 / body	30分	●																				
	点滴静注	100mLずてる(投与量は200mL)																							
7	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	シスプラチン 25 mg / m ²		60分	●																				
		シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計250mLとする)																							
8	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30分	●																				
	点滴静注	ゲムシタピン 1000 mg / m ²			●																				
9	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●																				
	点滴静注																								
10	経口投与	アプレビタトカプセル	125 mg / body		●																				
			抗がん剤の投与1時間前に服用																						
11	経口投与	アプレビタトカプセル	80 mg / body			●	●							●	●										
			分1 朝食後																						
12	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●							●	●										
			分2 朝食後																						

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

イミフィンジ:0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用して投与する。

イミフィンジ:希釈後の最終濃度を1~15mg/mLとする。

イミフィンジ:希釈は生食又は5%ブドウ糖液のみ。

ゲムシタピン:100mLで希釈し、30分で投与。

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・day2~3、day9~10のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

アプレビタトカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アプレビタトカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アプレビタトカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間~1時間30分前に投与し、2日目は降は午前中に投与すること。

【減量基準】

項目	GEM	ODDP
グレード4(500/mm未満)の好中球数減少	1000→800mg/m ²	変更なし
2万/mm未満の血小板減少または血小板輸血の実施	1000→800mg/m ²	変更なし
実施医療機関の基準値上限の10倍を超えるAST/ALT上昇	1000→800mg/m ²	変更なし
実施医療機関の基準値上限の1.5倍を超える血清CRE上昇	変更なし	休薬